

No. 2886

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：嶋田(ひ)委員・児嶋委員



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!

行動を起こそう！そして楽しもう！



本日のプログラム

平成30年10月4日 第2887回

- ・ 会員卓話：原 敬 君
「JXTG和歌山製油所の社会貢献」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

平成30年10月11日 第2888回

- ・ ガバナー公式訪問
檜畑 直尚 ガバナーアドレス
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2886回例会）

開催日 平成30年9月27日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ゲスト：橋爪美智子、上野山美知子、上野山千穂、上野山りか、嶋田一代、菅原知子、井上恵実、中元礼子、岩本和子、成川恵美、丸山初代、中村有香、脇村佳世子、石垣亜里子(敬称略)

会長の時間 (上野山(栄)会長)

「メルセデス・ベンツ」

先週はお休みでしたが、前期IDMを開催いたしました。私は両日参加させて頂きましたが、私の設定内容が具体的で無かったのか、方向が定まらない点もありましたが、皆様の熱い想いを感じられて、とても良いIDMであったと思っています。この後、川口リーダーと嶋田ひでリーダーに発表して頂きます。よろしくお願いします。



その他にも21日(金)に第2分区の会長幹事会が橘家さんで行われ、IMの検討会を開催し入念な打ち合わせを行いました。各クラブの会長幹事様方に有田ロータリークラブの本気度が伝わったと思いますので、多数のロータリアンがお集まりいただけると確信いたしました。また、その場で谷脇ガバナー補佐より、来年度の第2分区のガバナー補佐選出についての要望があり、持ち回り順にて御坊地区で選出いただく旨を共有いたしました。

また、日曜日には3クラブゴルフコンペがあり、天候にも恵まれ18名の参加(当クラブ7名)を頂き楽しい1日でした。些か申し訳なかったのが、運営担当の当クラブの会

長がまさかの優勝、幹事が3位、一番の景品のブービー賞を担当親睦委員長が頂くということになり、めばしいところを全て自クラブで頂いてしまいました。その時の私の賞金で今日はおいしいワインを開けますので期待ください。

ここ「キュッヒュ」はベンツの経営するレストランです。実は、この料理長は私の親族にあたり、元ダイワロイネットの料理長でしたが、不思議な縁でここに移って来ました。彼の料理は繊細なイメージがあり、今日は皆さんに自信を持って楽しんでいただけたと思っています。そしてゲストには石垣親睦委員長の一押しのギタリスト北田ようすけさんにお越しいただきました。今日は楽しい例会にいたしました。

さて、和歌山でベンツといえば石井さん、1964年からヤナセの代理店として販売していましたが、1993年和歌山ヤナセ株式会社に社名変更し、2004年、ダイムラー・クライスラー・ジャパンの正規ディーラーとなり、2012年、株式会社シュテルン和歌山と社名を変更されています。そして、昨年2017年にマリーナシティに本社を移転しております。併設してオープンしたこのレストランも顧客の満足度を上げるための目的だと思われます。企業イメージの作り方も今日では、なかなか難しいものがあります。自動車販売業も車だけをしっかりとやればよい時代ではないのでしょうか。

高級外車の代名詞のベンツです。一昔前はちょっと怖い方々に乗るイメージもありましたが、ここ数年はそんなことなく女性にも人気です。しかしながら、やはり高級車としてステイタスの現れる車に変わりはないと思います。個人的にベンツというと、重厚なイメージがあり、細部にわたって仕上がり綺麗、乗り心地も硬めで安定していますし、ハンドリング等とても扱いやすい車であります。一時期、霊柩車にも使っていましたし、私が所有していたのはGクラス、いわゆるジープ型で2台乗り継ぎました。このGクラスは1981年から販売され40年近くほとんど形が変わらず本年まで来ましたが、ついに今年モデルチェンジしました。乗っ

ていた頃は雪山に出かけると周りの車は避けてくれました。当時は強面だったのかもしれませんが。懐かしい思い出です。

モータリゼーションの進化は最近眼を見張るものがあります。電気自動車の普及や自動運転化の進む中で、ここ20年くらいの間で車の持つイメージが大きく変わると考えています。車に乗る理由は2通りあると思います。1つは移動手段です。もう1つはドライブを楽しむことです。移動手段に於いては車に乗りながら仕事や食事、睡眠を取ること出来るでしょう。また、自動運転車の専用レーンが出来、制限速度が無くなる可能性もあるでしょう。一方でドライブ好きには今までの車のイメージを残して欲しいと思います。クラシックカーが好きでメカを触りながら楽しむ方や、スポーツカーでコーナリングを楽しむ方、それぞれに車の面白さがあります。科学の進化が進んでも、楽しい車の魅力は残して欲しいものです。

ちなみに私の友人達は「今の所、自動運転で信頼できるのはベンツだけだ！」と言っております。私はベンツの営業ではございませんので興味のある方はお隣を訪ねてください。

幹事報告

(嶋田(崇) 幹事)

1. 野崎恭子さん(ロータリーの友編集長)の歓迎会の開催 9/13(木) 18時30分～橘家 会員8名参加
2. 9/16 R財団地区補助金の振込みがあった。金額は106,432円でミャンマー国際奉仕事業に使わせて頂く。
3. 第2分区クラブ会長・幹事懇談会の開催。9/21(金)17時～橘家 11/17(土)開催のIM(当クラブがホスト)について協議。当クラブ出席者…成川(守)、脇村、岩本、上野山(栄)、嶋田(崇)
4. 10月ロータリーレート 112円/\$

委員会報告

*SAA(松村SAA)

来週いっぱいクーレビズを一旦終了します。ガバナー公式訪問の10月11日からはネクタイと上着を着用して下さい。

*親睦活動委員会(石垣(泰)委員長)

9/23(日)有田3クラブ親睦ゴルフコンペ
ホスト有田RC 有田東急GC 18名参加

*R財団委員会(松村委員長)

上野山(栄)君より恒久基金をいただきました。

*米山記念奨学会委員会(丸山委員長)

上野山(栄)君より特別寄付をいただきました。

出席報告

(脇村例会運営委員)

本日の会員数30名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数25名

(出席規定免除会員7名)

89. 29%

9/6 80. 00% MU:橋本君

ニコニコ箱の報告

(松村SAA)

上野山(栄)君:前週の前期IDM、第2分区会長幹事会、3クラブ合同ゴルフコンペへご参加の皆様ありがとうございました。本日の夜間例会にご参加のご家族の皆様ありがとうございます。楽しい時間を共有いたしましょう。

嶋田(崇)君:本日の家族例会、みなさん楽しんで下さい。

井上君:うしろの黄色いベンツがほしいです。

成戸君:ステキなディナーをありがとうございます。

石垣(泰)君:ゲストの北田君、本日はよろしく願います。

石垣(洋)君:家族夜間例会、お世話にして下さった皆様ありがとう。楽しませていただきます。

宮井君:本日家族例会役員の皆様、お世話頂きありがとうございます。秋の一夜楽しく過ごさせていただけます。

嶋田(ひ)君:本日、IDMの発表させて戴きます。

成川(雅)君:夜間例会、楽しくすごさせていただきます。

上野山(捷)君:IDMの発表ご苦労さまです。夜間家族例会へようこそ参加下さいました。

児島君:珍しいお店で楽しみます。

橋爪(正)君:親睦活動委員会の皆さん、本日の例会御苦労さまです。

岩本君:今夜の夜間家族例会、多くの皆様方御参加ありがとうございます。

丸山君:IDM報告、よろしく願います。また台風が来そうです。台風はもういやだ!

菅原君:夜間例会楽しみです。宜しく願います。

中村君:合同ゴルフコンペ参加できず申し訳ありませんでした。本日は夫婦でよろしく願います。

上野山(英)君:親睦活動委員会の皆様、本日の準備ご苦労様でした。

川口君:本日IDM発表させていただきます。宜しく願致します。

橋爪(誠)君:IDM発表よろしく願いたします。すてきな夜になりそうですね。今日は楽しみま〜す。

成川(守)君:IDMご苦労さまでした。

児嶋君:上野山会長、ゴルフ優勝おめでとうございます。キュッヒュの食事たのしみです。

橋本君:川口健太郎さん、嶋田ひでさん、本日のIDM発表よろしく願います。

中元君:前期IDMの発表、よろしく願います。

松村君:IDM発表よろしく願います。ほぼ満月の月を見ながらの食事楽しみです。

前期IDMの発表

前期IDMテーマ

「公共イメージについて」

【討論事項】

- ①各クラブが公共イメージを発信する必要性について
- ②あなたが考える有田ロータリークラブの公共イメージとは(有田ロータリークラブはどうあるべきか?)

- ③インスピレーションになるための公共イメージとは
- ④メディアの種類と活用方法
- ⑤有田ロータリークラブの公共イメージの為にすべき事柄

【第1班】



リーダー
川口 健太郎 君

開催日時 2018年9月18日(火)18:30～

出席者：川口 健太郎(リーダー)、橋本拓也(サブリーダー)、脇村重徳(情報研修委員長)、上野山栄作(会長)、岩本道弘、嶋田崇、上野山英樹、橋爪正芳、宮井清明、中村吉伸、丸山芳孝、福原陽司、石垣泰伸
以上13名(敬称略)

【上野山会長よりテーマの説明】

- ・公共イメージの言葉の意味、コマーシャルとPRは違う、私たちはPRになる。
- ・世界のロータリーが何をPRしていくのか。
- ・有田RCが何をしたいのか考える。
- ・会員の皆が何を望んでいるのか。
- ・①～⑤という事に捉われず、皆さんの意見を聞きたい。
- ・もっとロータリーを知ってもらうことで活動の幅が広がるのではないかな。今までは陰徳な部分があった。
- ・地元のクラブは地元根付いているのだから地元PRすればよいと思う。

【討論開始】

- ・公共イメージを発信とは、社会奉仕を知ってもらい地域を巻き込んで行くことで、RCが何をやってるのか知ってもらうという事。では知ってもらうには何をすればよいのか考えて下さい。
- ・今年度の創立60周年記念事業は、地域の学生を巻き込んだことは、まさに公共イメージを発信している良い事業であった。以前は地域に密接した事業を実施していたが、最近はそのような事業はしなくなった。ロータリアンは地域のいろんなコミュニティに参加することでもRCを発信することになる。
- ・今までは職業奉仕が基本であったが、最近のRIはクラブ全体で発信するように変わってきている。
- ・間違っているといけないのは、奉仕のための奉仕になってはいけない。地域のためになる事業を選んでいくべき、RIの考えとは少し違う。
- ・ロータリーの存在価値が高まる活動を行うべきである。
- ・公共イメージを上げることは、会員増強に繋がる。
- ・地域の方々に満足・評価してもらえる活動をすべき。それと広報は一方通行ではない双方向であり、広報と広

聴がセットでなければいけない。

- ・RIは会員の減少をどうすれば良いかと考えての公共イメージであることに矛盾が生じていると思う。
- ・過去に何十回と同様の議論を行って来たが、その議論で決めたことを実行してこなかった。
- ・昨年の地の島事業や今年の学生の事業は、地域の人が喜んでくれた事業であったと思います。しかし、今年行った学生の事業は、実行に移すところまでやるのか？実行までやろうと思うと、今のRCメンバーでは難しい。RCが行う事業は献血や清掃など、小さなことでも良いのではないかな。
- ・今までは青少年事業を中心にやってきた。その事業の過程が我々を育ててきた。人間力が向上する事もRCである。
- ・地域社会に認知されるのは分かりやすく継続的事业を行うことと思う。しかしRCは単年度制、この仕組みの良いところは個々の成長がある。だから固執することなく、その年その年に違いが出て良い。
- ・RCを皆に知ってもらおうとする行為には抵抗がある。陰徳で良いと思う。
- ・ボランティアをプロ化しようという動きがあるが、私たちはゴミ拾いであってもよい。
- ・RCは人を育てる機関と捉えているので、陰徳でよい。公共イメージを向上させるには、どんどん外向きの活動をして行かなければならない、そうすると今以上の参加参画になり負担が大きくなると、そのイメージが定着し、新規の入会に二の足を踏む。
- ・現在のRCはI serveでは無くなって来ているのではないかな。そうすると他団体との違いがわからない。We serveではないと考えている。
- ・一度難しく考えないで、地域に知ってもらうにはどうすれば良いかに絞ってみてはどうか。
- ・ITの発達で広報の仕方も変わってきた、SNSなど情報発信の手段である。
- ・他が作ってきた事業をRCが費用を出してやることも公共イメージに乗せられる。そういうことまでPRするのか確認したかった。少し違うと確認できた。そして、私たちで行った事業はもっと報告して行きましょう。
- ・知ってもらわなければいけないのか？知ってもらわなくても良いのではないのでしょうか。
- ・RCは一人一人が粛々とやる事が、格好良いと思う。
- ・RIが公共イメージの重要性を取り上げだしたのは、10年程度前。その時は、リーマンショックで会員が12万人から9万人にまで急激に会員が減ったからと思う。
- ・公共イメージのPRする対象まで考えていない、その対象によってPRも変わってくる。将来会員になろうという人であるのか、ターゲットを絞ってPRすることが効果的と考える。
- ・自身がRCの活動を自慢できれば、必然的に会員を勧誘してくる。
- ・私は地域のために、自分のためにRCの活動を行う。その活動をSNSでPRすれば一気に広まる。そして、やる事は地域の発展のために清掃や植樹など小さなことから地道に活動したことをPRし広めていけば地域の方々にも必ずわかって頂ける。

- ・RIの発信する事は動きとして見ておいて、私たちは選択すればよい。奉仕の為の奉仕は何も生まない。
- ・ロータリーデーは、地域に対してRC活動をPRする場と思う。
- ・RCは自己研鑽が一番の目的と捉えている。人間的に成長できる事業、住民の為ではなく、ロータリアンの資質を向上する事業が良い。RCの事業は単年度制が魅力。その年の事業を来年もやってくださいと言われてするものではない。
- ・青少年交換、米山記念奨学会、交換留学生などがロータリーらしい活動と思う。しかし、青少年交換委員会とローターアクト委員会は9年ほど前に廃止した。
- ・私は、米国カリフォルニア州デレーノとの交換留学生制度などはロータリーらしい活動だった。
- ・単年度制がロータリーらしい。
- ・会員増強は、ある程度必要だがあまり数にこだわったら良い人材が集まらない。実際に熱心に活動出来る人に入会して頂くのが理想。

【リーダー感想】

皆さんのRCに対する想いは様々であり深く感じました。今回のテーマは公共イメージという事でしたが、この項目一つ取ってもRCの根幹へ繋がる大切なことであると感じました。リーダーとして皆さんの議論を客観的に聞かせて頂いた感想は、私たちはいつでもどちらにでもなれる。I serveを知っているからWe serveも出来る。各種事業が自身を育て地域に貢献できる、またその反対もしかりです。

皆さんは色々なコミュニティーに多大な影響を与える方々であり、その影響力ある方々が集まっている会ですので、どんなことでも取り組める。無理にこうしなくてはならないとか、こうであるべきとしてしまうところに制約がかかっているようにも感じ取れ、勿体ないようにも受け取れました。どちらの意見も真っ当であり何も間違えていない、ただ右回りか左回りの違いであり行きつくところは同じではないかと思いました。ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

【第2班】



リーダー
嶋田 ひで 君

開催日時:2018年9月20日(木) 18:30～

参加者:嶋田ひで(リーダー)、松村秀一(サブリーダー)、中元耕一郎(情報研修委員会)、上野山栄作(会長)、岩橋行伸、児島良宗、上野山捷身、井上修平、橋爪誠治 以上9名 (敬称略)

上野山(栄)会長から「公共イメージについて」趣旨説明の後、各自意見を述べた。

- ・とても良い活動や事業を行っているが、その時その場所にいる人にしか伝わっていない。中学生対象の事業などは生徒が家で家族に話をすればどんな事をしたかある程度伝わると思う。地方新聞で人の集まる場所、人の集まる時に事業が行えばよいと思う。
- ・何年も前から地域で良い事業をやってきたが、その何分の一も広報できていない。ライオンズクラブの活動のほうが目立っている。これはロータリーとライオンズの違いではないか。
- ・有田郡市に3クラブある。ゴルフだけでなく一緒に例会を催したり、合同で事業をして3クラブで広報をするとう良い。親睦にもなると思う。
- ・PRはしたほうが良い。具体的な方法は分からないが、将来の事を考えると若い人達に意見を出してもらってほしい。
- ・ロータリーはI serveなので、奉仕は各自がすれば良い。クラブでも良い活動をしているので広報したほうが良い。有田川クリーン作戦は有田ロータリークラブが最初に始めた。最初の頃は不法投棄の大きなゴミもありとても苦労を重ねて事業を始めた。今では有田市全体の事業となった。しかしながら、今は有田ロータリークラブは一つの参加団体でしかなく有田川クリーン作戦は有田ロータリークラブが始めたということを知る人は少ない。有田市主催の有田川クリーン作戦になった。これは広報活動を上手く出来なかった結果だ。
- ・公共イメージを考える時、ターゲットを地域の人に分かってもらうのか、会員を増強するためなのか目的をまず定めなければならない。誰にどんな目的で広報するのかまず話し合うと良い。良い活動をしているので多くの人に知ってもらいたい。その結果、より多くの人に対してインスピレーションになれる。有田市のような人口減少の地域では、小・中学校にパイプを持ち継続的な活動によってロータリークラブの理解を深める事が出来るのではないか。
- ・広報はアナログやデジタルなど様々な方法で行い、ROTARYのロゴと歯車のエンブレムを人々の目に焼き付けると良い。
- ・ライオンズやソロプチミストとの違いは、職業奉仕が基本であること。ロータリアン自身が良い仕事をする事によって地域を良くしていく。これがロータリークラブの大事な考え方。
- ・資金力のある会は有名人を呼んで講演会を開催している。入場整理券を発行し、その会の名前が書かれた入場整理券を持って当日会場に行くことになる。1ヶ月程の間にこの一連の流れの中でその講演会を主催する会の名前が人々の記憶に刷り込まれて増員にも繋がっている。
- ・今年度の事業で中学校、高校を回った。チラシも4000枚近く配布した。中学高校対象だとその家庭にも伝わる。自ずとある程度は広報できる。
- ・SNSを利用している会員はそれを使って事業を広報できる。

・有田クラブのフェイスブックページを作り週報に掲載されている事業などを載せると良い。ホームページを見してくれる人も出てくるのではないかな。

【リーダー感想】

時間を超過しての話し合いで、沢山の意見を頂きました。過去の事業についても先輩方からお話をうかがうことができました。入会させていただくまで、ロータリークラブについて何も知らなかった私なので、今回のテーマ「公共イメージ」はとても大切だと思いました。今後のロータリークラブには大切な時間だったと思います。

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

第2分区会長・幹事懇談会
2018年9月21日(金) 17:00～ 於:橘家



家族夜間例会

例会の後、懇親会が開催されました。

場所:キュッヒエ

成川直前会長の乾杯の挨拶の後、北田ようすけさんのギター演奏を、美味しいお食事とともに楽しみました。

有田3クラブゴルフコンペ

2018年9月23日(日)

18名の参加。優勝は当クラブの上野山栄会長です！おめでとうございます！！

